

マクラガイ

Oliva mustelina Lamarck

新腹足目マクラガイ科

石川県カテゴリー 地域個体群

国カテゴリー なし

選定理由

南方系の種で、佐渡島と並び能登半島は分布の北限に近いが、県内各地に広く分布している。

形態

殻高4cm、殻径1.2cm程。殻は円筒形で黄褐色の地に細かいジグザグ模様が密にある。殻口内は紫色で、内唇上端に滑層瘤がある。マクラガイ属には全て蓋がない。

国内分布

房総半島、佐渡島以南、四国、九州。

県内分布

能登半島各地および加賀の砂浜海岸で、打ち上げられた貝殻が観察できる。

生態

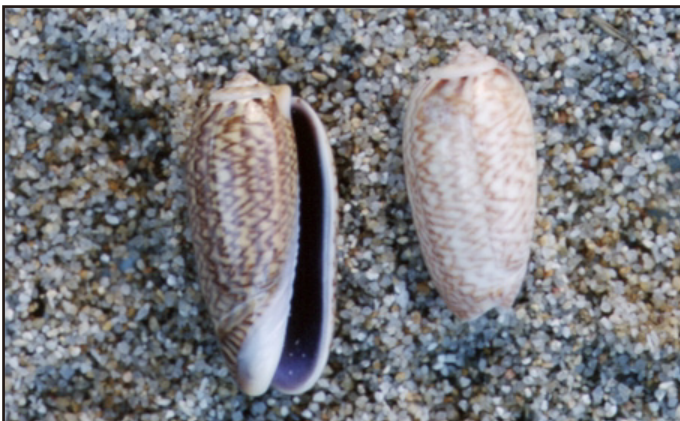
毎年、砂浜に打ち上げられる貝殻は多く、周年生息していると思われるが、生貝の生態は不明である。

生息地の条件

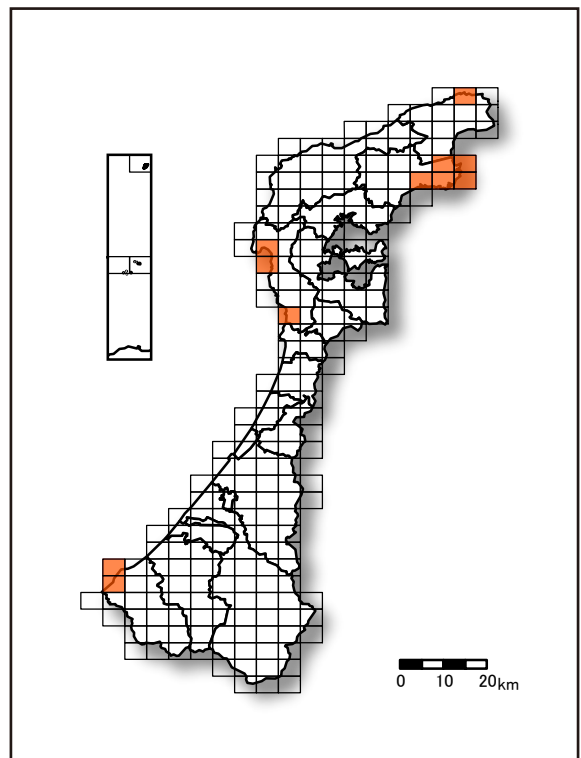
生態が不明なので言及できない。

生存の危機

生態が不明なので言及できない。



写真提供者：岡本武



県内の分布